

## ■災害履歴図について

「災害履歴図」は、地方公共団体や関係行政機関、研究機関、大学等が調査した水害、地震災害、土砂災害等の現地調査図等の資料より、調査地域内で過去に発生した災害による被害区域や被害箇所に関する情報を示した地図です。ここで提供する情報は、概ね5万分の1程度の縮尺レベルで作成されており、位置誤差を含むほか、地図上で表示をまとめたり省略したりしている場合があります。

また、引用する被害調査図等の資料が不十分なため、地図に掲載されていない災害もあります。被害の場所等を特定できない災害等については、別途災害年表や調査説明書に記載している場合がありますので、合わせて参照してください。

なお、災害発生後の堤防整備や下水道整備、地盤の改良等の防災対策が行われている場合などには、災害発生当時に比べて、現在は土地の安全性が向上している可能性がありますのでご留意願います。

「高知地区」の災害履歴図の作成にあたっては、以下の資料を参照しました。

### [水害]

#### ・昭和47(1972)年9月集中豪雨による浸水域

資料①, 資料②により浸水域を編集し区域表示

#### ・昭和50(1975)年台風第5号、昭和51(1976)年台風第17号による浸水域

資料①により浸水区域を表示。

#### ・平成10(1998)年9月秋雨前線豪雨による浸水域

高知市域を資料③, 高知市域外を資料④により編集。浸水域が重複している箇所は、S47、S50、H10の浸水発生年をそれぞれ記載している。

### 【資料】

- ① 高知県(1982)「鏡川及び国分川等の流域浸水実績図」〈地図〉. 高知県土木部.
- ② 日本河川協会(1991)「全国の浸水実績図3(中国・四国・九州編)」-竹島川・西谷川. 日本河川協会, 160p.
- ③ 高知市(2013)「洪水ハザードマップ」〈地図〉. 高知市防災対策部.
- ④ 高知市. 「1998年9月24～25日の大雨による浸水区域図」〈地図〉. 高知市防災対策部.

### [地震・津波災害]

#### 1. 津波による浸水域

#### ・昭和21(1946)年南海地震による浸水域(南海大震災誌)

資料①による津波浸水域を引用

#### ・昭和21(1946)年南海地震による浸水域(水路要報)

資料②による津波浸水域を引用

**【資料】**

- ① 高知県南海大震災誌編纂委員会(1949)「南海大震災誌」. 高知県, 880p.
- ② 海上保安庁水路局(1948)「昭和 21 年南海大地震調査報告 地変及び被害編」. 水路要報, 増刊号(昭和 23 年 8 月 31 日), 水路局, 117p. +付図.

**[高潮災害]**

**1. 高潮による浸水域**

- ・ 昭和 25(1950)年ジェーン台風による浸水域

資料①による高潮浸水域を引用。

- ・ 昭和 45(1970)年台風第 10 号による浸水域

資料②による高潮浸水域を引用。

**【資料】**

- ① 四国地方経済復興開発委員会, 地盤変動調査専門委員会(1951)「四国地方地盤変動調査報告書第 9 集」. 建設省中国四国地方建設局, 157p.
- ② 高知県(1982)「鏡川及び国分川等の流域浸水実績図」〈地図〉. 高知県土木部.

**注 :**

各図に示した市町村界及び市町村名は、平成 26 年現在。

明治 40 年頃の海岸線は、当時の 5 万分の 1 地形図による。